

放課後等デイサービス自己評価（公表用）

公表：令和5年12月31日

事業所名：放課後等デイサービスはびねす

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4	1		活動や状況によって、配置を変えたりして工夫を行っている。子供達の成長により、窮屈になってきている部分もある。広いスペースが必要になってきていると思う。
	②	職員の配置数は適切であるか	7				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3			玄関の幅などもう少し改善できる場所もあると思う。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7				会議により職員一同理解できている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7				保護者向けのアンケート結果から、職員紹介の手紙を配布したり保護者の交流の場を作るように活かすことができたと思う。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7				昨年（初回）の結果は HP 上での公表、SNS を使用して公表したことの報告を行ったものの中々見る機会はないと思うので結果を配布するのもいいと思う。前年度は結果を配布した。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7		外部による評価は未実施。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7				研修会の案内や資料配布、事業所内勉強会を実施している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				会議等を計画、参加し個々のニーズに合わせた計画書の作成に努めている。職員一同で参加を行い、分析・作成につなげている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	1		決められたアセスメントツールの使用はない。子供たちによって、どのようなものがいいか検討していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				季節や天気など状況に応じて工夫を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7				みんなが楽しめる活動支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7				体調・活動内容を把握しているが、体調により急な変更がある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0			送迎などにより全員が集まるのが難しい場合がある。急を要する場合には、管理者に直接報告を行っている。日報など記録に残し、翌日に話し合いを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				毎月支援計画会議などをもとに、行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	7				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	7				サービス担当者会議が行われる機会が少ない。必要に応じて相応しい職員が参加できると思う。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7				下校時などに確認が行えている。学校だけではなくリハビリや通院などに同行して情報共有を行えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7				指示書を作成いただいて緊急時の連絡先など態勢を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7				相談事業所・保護者を通して、活動状況や現状の確認・情報共有を行っている。就学前に利用している事業所への見学などを行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		7			卒業生がおらず未実施。必要となった場合、積極的に協力を行う。卒後の事業所としての対応を検討していく必要がある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7				研修会の参加などは行っているものの、個々の児童での相談助言などは受けていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	2		児童館や公園などには遊びに行くものの中々交流には繋がっていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7				管理者を中心に参加している。参加後の伝達講習がある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				面談や送迎時に行えている。

	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6			
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				管理者が中心に行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				必要に応じて相談に応じている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7				コロナのため、開催できていなかったが、音楽会や日曜日に訪問美容を開催したりと交流の場づくりを意識している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7				SNS などを使用して、活動などお伝えしている。お知らせ（緊急時、感染症対策など）に関しては、保護者向けに手紙を配布しているが定期ではない。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7				写真などの扱いについても注意している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3			公民館と協力して様々なイベントを開催することができた。地域の方々とも関わりを作ることができた。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7				感染対策委員会の設置、マニュアルの作成、救命訓練など行っているものの保護者に向けて報告公表を明確にできていないその他の報告方法を検討する必要がある。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7				通報訓練、消火訓練、避難訓練を定期的に実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				研修会への参加および職員への伝達講習を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7				身体拘束に該当する児童がいない。身体拘束委員会を設立しており、身体拘束についての勉強会や会議などを行っている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7				
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7				作成されているが、共有手段を検討する必要がある。